



パレスチナ ナイト in 仙台

パレスチナのオリーブ木工製品などを
フェアトレードで販売している
兵庫県の「架け箸」さんが来仙します。

パレスチナのことを気になるけれど
知る機会がないというあなたへ

パレスチナ
製品販売

トーク

上映会



日時 | 9月13日(金) 18:30~20:30 (18:00 開場)

会場 | アート・インクルージョン Ai GALLERY

〒980-0811 仙台市青葉区一番町 3-8-14 スズキアバンティビル3F (1階がソフトバンクのビルの3階です)
(アクセス) 電力ビル前バス停・仙台市営地下鉄南北線広瀬通駅・青葉通一番町駅より徒歩3分

参加費 | 800円 (ドリンクとお菓子付き)

障害者手帳のある方・その他事情がある方 300円
情報保障: 筆談 (手話通訳はありません)

定員 | 30名

左のQRコードもしくは右の問合せからお申込ください。
当日もお席があれば入場可能です。



▲架け箸の「もくもくオリーブローチ らくだ親子」

主催 | 一般社団法人アート・インクルージョン、架け箸
合同会社パレスチナ・オリーブ、行動フェス

問合せ | kad@kadowakiart.com 080-4357-7035 (門脇)
kakehashi.notwall@gmail.com (架け箸)

素敵に国境はない

パレスチナ×日本のカワイイを届ける
フェアトレードブランド「架け箸」代表
高橋智恵さんを兵庫からお迎えし
トークとパレスチナ製品販売をします。

昨年秋から約1年。パレスチナの方々は空爆や攻撃に晒され続けてきました。長期化とともにテレビで観ることが減る=何も起こっていない訳では決してありません。そもそもパレスチナは76年間、静かに、時に私達にも見える形で侵攻され続けてきた地域です。それでも尚、そこには伝統工芸があり、毎日の暮らしがあり、そこで生きていく人達があります。その手触りを、イベントに集まった皆様と一緒に、映像やお話、手工芸品などを通して共有し、未来を考える一夜にしたいと開催を企画しました。



架け箸のオリーブの平皿



高橋 智恵 (TAKAHASHI Chie)

1996年兵庫県川西市生。2020年3月神戸大学国際文化学部卒業。大学在学中、中東パレスチナにて1ヶ月のホームステイを経験。人柄と文化に惹かれ、2020年2月にパレスチナの地場産業を活かしたクリエイションブランド「架け箸」を個人事業として設立した。日頃の情報から生まれる先入観などを取り払い、文化を通して本地域を知ってもらいたい、とスローガン「素敵に国境はない」を掲げて活動している。ヨルダン川西岸地区で作られる木工や刺繍の手仕事を扱う。



パレスチナ
製品販売

上映会

トーク

▲架け箸の鳩のレターオープナー

6:00
~8:30

フェアトレード商品や 連帯グッズの販売



架け箸：木工製品
パレスチナ・オリーブ：オリーブオイル
コッペ：オリーブオートミールクッキー
行動フェス：チャリティー連帯グッズの販売



▲パレスチナオリーブのオリーブオイル

6:30~

門脇篤監督ドキュメンタリー 「パレスチナ・レポート」から



「架け箸」の生産者が暮らすナブルス、ベツレヘムの様子がうかがえる40分ほどの短縮版上映とトーク

当日ご参加のみなさまには84分のフルバージョンがご覧いただけるリンクアドレスをお渡しいたします。

7:30~

「架け箸」代表・ 高橋智恵さんトーク



▲ひとつひとつ手仕事で作られる木工製品

パレスチナの方々と一体なぜお仕事をするに至ったのか、学生時代のホームステイの原体験と、現地で感じたこと、フェアトレードの活動と生産者の今をお話します。